

達成度

- 5 目標を完全に達成した。
 4 目標を概ね達成した。
 3 目標を一部達成した。
 2 目標をほとんど達成できなかった。
 1 目標をまったく達成できなかった。

学校給食センターの目標（平成20年度）自己評価書

学校給食センター所長 篠原 努

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 学校給食の充実（管理班）</p> <p>（1）地域、学校、家庭との連携・協力を図りながら学校給食を通じて日常生活における食事について、正しい理解と望ましい食習慣を養い栄養の改善や健康の増進に関する指導の充実に努めます。</p> <p>（給食指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では学年に応じたテーマを設け、栄養士が計画的に指導を行い、中学校では生活習慣病予防などの学習会を実施します。 <p>（給食だより・センターからこんにちは）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活に対する正しい知識の普及を図る観点から月毎に「給食だより」を作成し各学校へ配布します。 ・酒々井町健康ビジョンの推進を図るため関係する課と連携し生活習慣病予防など生涯にわたる健康づくりを目的とした「センターからこんにちは」を年3回作成し、児童生徒の保護者へ配布します。 <p>（2）地元で生産された安全で新鮮な野菜や加工品を積極的に取り入れ、地産地消を推進します。</p> <p>（3）給食センター施設設備の改善と衛生設備の充実に図り、食品の品質管理や給食従事者の健康管理など衛生管理の強化に努めます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食という身近な教材を通して、児童・生徒達に健康保持の重要性を認識させた。 ・毎月発行する「給食だより」を通して、食生活に対する正しい知識の普及を図った。 ・年3回（7月・10月・2月）発行する「センターからこんにちは」を通して、生活習慣病予防などの健康づくりを推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・地元産の野菜を取り入れたことによって、鮮度が高い給食の提供ができた。また、給食を通して地域農業の活性化に貢献した。 <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄作業用の踏み台を木製（カビや細菌の繁殖）からアルミ製の設備に改善した。

<p>2 チャレンジ目標</p> <p>(1) 地産地消の推進 地元直売組合（給食部会）に野菜の使用状況等、作付計画に必要な情報の提供を行う他、安全な農産物の生産など農薬使用の適正化についての情報交換を行います。</p> <p>(2) 施設及び従事者等の衛生管理 施設設備の清潔、衛生の保持及び食中毒防止にかかる啓発を年間を通して行います。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>・作付計画の参考となるよう「学校給食(野菜)使用状況」の資料を提供すると共に、農薬使用の適正化を図るため、栽培履歴を作成し、管理することの情報交換を行った。</p> <p>・センター内外の清掃を職員で定期的に行い、施設の清潔、衛生の保持に努めた。また、食中毒防止にかかる啓発を行い衛生管理の強化に努めた。</p>
--	-------------------	---